

気候変動への対応について

SH プレシジョン（以下、当社）は、サステナビリティ経営方針において、持続可能な社会の実現に貢献する経営課題に取り組み、事業の持続的な成長と企業価値の向上を図ることを掲げ、従業員一人一人の技と心で新しい価値を創造し、お客様に満足いただける製品と技術の提供を通して、地球にやさしく、社会から信頼される企業で有り続けることを目指します。

当社は、環境方針の下、長年に亘り、環境負荷物質の削減、エネルギー使用量の削減、資源の有効活用、リサイクル化など取り組んでまいりました。こうした中、地球温暖化による気候変動は、当社事業のみならず、お客様、サプライチェーンに対しても多大な影響を及ぼす重要な課題と位置づけ、その取り組みを計画的に推進しております。

1. 中長期環境目標

目標項目	2030年	2050年
温室効果ガス(GHG)実質排出量	50%削減 (2013年対比) ※1	実質排出量 ゼロ
再生可能エネルギー使用	使用率 100%	使用率 100%維持

※1) 対象:Scope1+Scope2

2. 推進体制

当社は、気候変動対策など環境への取組みを推進するため社長（事業所責任者）を委員長とするサステナビリティ推進委員会にて、定期的に当社の事業方針および手続への反映を行うとともに、環境マネジメントシステムの枠組みを活用し、取組みを推進します。

3. 活動実績

当社は、中長期環境目標（2030年・2050年）達成を目指し、全社活動を展開しています。具体的な活動として、以下の分野に重点を置き、カーボンニュートラルの実現を目指しています。

- （1）省エネルギー推進並びに生産効率化による GHG 実質排出量削減（図 1）
- （2）再生可能エネルギーの使用（図 2）

図1：温室効果ガス（GHG）実質排出量削減の推移と目標値（Scope1+Scope2）

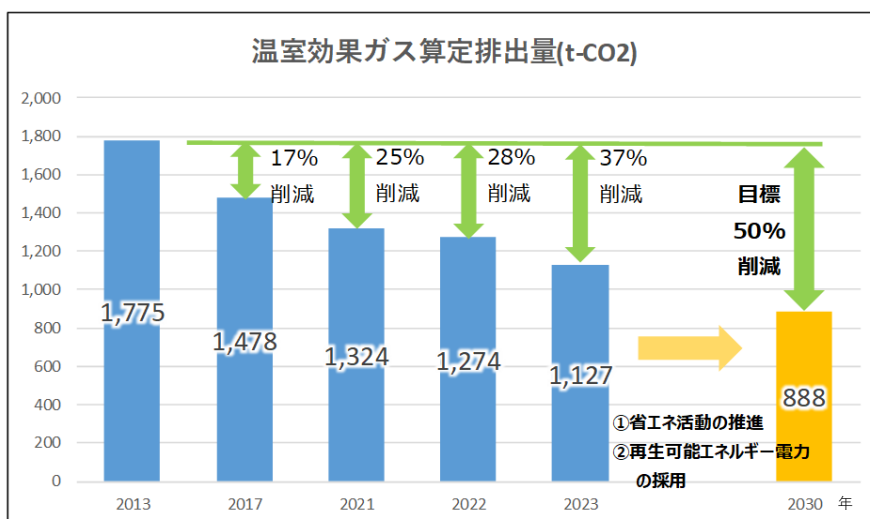
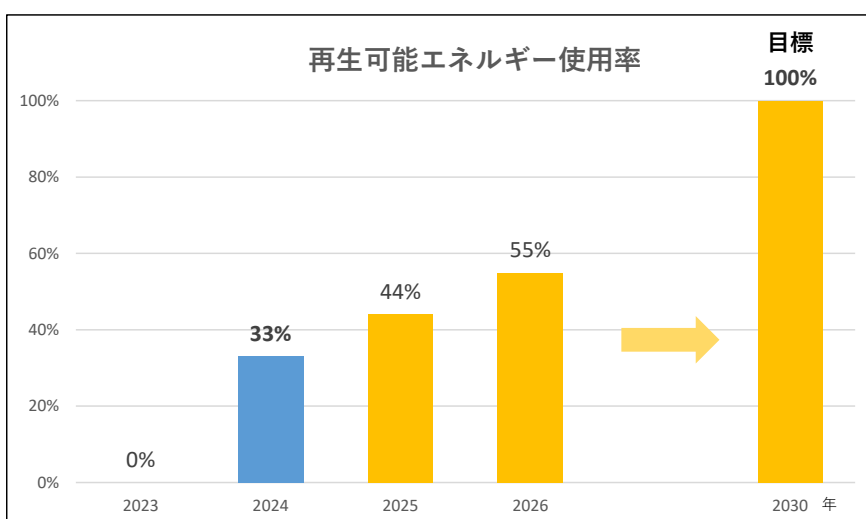


図2：再生可能エネルギー使用率の推移と目標値



4. 活動内容

(1) 省エネルギー推進並びに生産効率化による GHG 排出量削減

当社は、製造設備やユーティリティ設備等の省エネルギー化、生産活動の効率化等により GHG 排出量の削減を進めています。具体的には、変圧器、空調設備等老朽化機器の省エネ機器への更新、圧縮機の効率的運用、照明の LED 化など各種施策の実行並びに生産設備の集約、設備稼働率改善など生産改善活動の推進を通して、効率的なエネルギー利用による低炭素製造工程・施設の実現を目指し、全社で取り組みを強化しています。

(2) 再生可能エネルギーの導入

当社の事業活動を通して排出される GHG の内、外部から購入する電力に由来する GHG の比率が大きなウエイトを占めています。そこで、2030 年度において再生可能エネルギー使用率を 100%にすることを中長期環境目標に掲げ、購入する電力の再生可能エネルギーへの転換を推進しています。具体的には、2024 年 1 月より東北電力殿と CO2 フリーの再エネ電気の供給契約を締結し、当社で使用する電力の約 1/3 を切替えました。今後、再エネ電気の適用割合を順次拡大し、中長期環境目標の達成へ向け、取組みを強化して参ります。